

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地			
吉田学園動物看護専門学校		平成14年11月21日	滝本 玲	〒065-0016 (住所) 札幌市東区北16条東5丁目4番7号 (電話) 011-712-1633			
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人吉田学園		昭和53年10月31日	吉田 祐樹	〒060-0063 (住所) 北海道札幌市中央区南3条西1丁目15番地 (電話) 011-272-6070			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
文化・教養	専門課程	トリマー学科	平成28(2016)年度	-	平成30(2018)年度		
学科の目的	本学科は、高等学校教育の基礎の上にトリミングに関する知識及び技術を教授するとともに人と動物のふれあいきずなの理念を大切に、豊かな心で動物と接することができる有為な人材の育成を図り、教育を行うことを目的とする。						
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	取得可能な資格…サロントリマー1級、サロントリマー2級、愛玩動物飼養管理士1級、愛玩動物飼養管理士2級、Excel表計算処理技能認定試験3級 課外活動…スポーツサークル、ボランティアサークル、イベントサークル 中退率…令和5年度在籍18名、退学2名、中退率11.1%						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,935 単位時間	600 単位時間	135 単位時間	1,200 単位時間	— 単位時間	— 単位時間
生徒総定員	生徒実員(A)	留學生数(生徒実員の内数)(B)	留學生割合(B/A)	中退率			
60人	7人	0人	0%	0%			
就職等の状況	■卒業生数(C)		9人				
	■就職希望者数(D)		8人				
	■就職者数(E)		8人				
	■地元就職者数(F)		7人				
	■就職率(E/D)		100%				
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		88%				
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		89%				
	■進学者数		0人				
	■その他						
	就職指導内容…クラス担任と就職担当者が連携し指導・対応を行う。 (令和5年度卒業生に関する令和6年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) (株)ペットランド、ハーティ動物病院、(株)ペットハウス、ソマリ犬猫病院、Coo & RIKU、ハーティ動物病院、(株)ワンダードッグ						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL						
当該学科のホームページURL	<a href="https://yoshida-doubutsu.jp/">https://yoshida-doubutsu.jp/</a>						
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)						
	総授業時数		1,935 単位時間				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		180 単位時間					
うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間					
うち必修授業時数		1,935 単位時間					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		180 単位時間					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位時間					
(B: 単位数による算定)							
総単位数		単位					
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		単位					
うち企業等と連携した演習の単位数		単位					
うち必修単位数		単位					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		単位					
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		単位					
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)		単位					
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		0人				
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		2人				
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人				
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人				
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		4人				
	計		6人				
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		3人					

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会は、実践的かつ専門的な職業教育を実施するため、企業等との連携を通じ、必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目開設・授業内容・実施方法の改善・工夫等)に活かすことを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

①学校教職員2名以上、文化・教養分野に関する企業等の役職者2名以上により構成し、実践的かつ専門的な職業教育の実施に向け、必要な情報の把握・分析を行い、実践教育課程の編成に活かすため、次の事項について審議を行う。

- ・業界における人材の専門性の動向、国又は地域の産業振興の方向性に関する事項
- ・実務に必要な最新の知識・技術・技能に関する事項
- ・学則の教育課程に関する事項
- ・教育課程に基づくシラバスに関する事項
- ・実習・演習等に関する事項
- ・その他、職業教育に関する事項

②教育課程編成委員会の提言等を踏まえ、学科会議にて付議・検討を行い、授業科目の追加や授業内容・方法の改善・工夫を行う。なお、学則変更を伴う教育課程の変更については、理事会の決議を経て行われる。また、シラバス・実習・演習に関する変更については、校長の決裁を経て行われる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
鳥越 慎吾	札幌小動物獣医師会 会長 あいの里動物病院 院長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	①
今道 昭一	きたのさと動物病院 院長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
立石 淳子	公益社団法人 北海道愛玩動物協会 代表	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	①
棚橋 祥恵	株式会社Rococo 代表取締役社長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
滝本 玲	吉田学園動物看護専門学校 校長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	—
古久保 英樹	吉田学園動物看護専門学校 学科長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	—
山本 美紀	吉田学園動物看護専門学校 主任	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	—
前鼻 彰人	吉田学園動物看護専門学校 主任	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年8月28日 14:00～15:00

第2回 令和6年2月27日 14:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

学生の実践力を高めるため、ビジネスマナーなど広く社会教養や業界において今後必要性が高まる分野を精査し、資格取得も含め魅力あるカリキュラムの編成を検討し実施している。また、ICT教育の推進を図り、授業効果を高める取り組みを継続して検討する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

事業委託契約書による連携を基本とし、実践的かつ即戦力となり得る技術習得を目指すために連携を行うもの。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習・演習等の方針を基本として、担当者と事前・途中の打ち合わせを行い、動物病院内において現場の獣医師・動物看護師の業務見学ならびに動物看護師の業務体験を行う。実習終了後に習熟度評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
店舗実習Ⅰ・Ⅱ	3. 【校外】企業内実習(4に該当するものを除く。)	講義・学内実習で学んだ知識と技術を基に、実務経験を通して総合的な動物美容、販売が実践できる為の基礎能力を習得する。	(株)ペットハウス テン・テン (株)ワンダードッグ ペットハウス パウ ペットショップ ポビー ドッグサロン らく 等 計17店舗

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は、学校法人吉田学園研修規定により、次に掲げる各研修を通し、現在就いている業務又は将来就くことが予想される業務の遂行に必要な知識・技術・技能等を修得するとともに、その他その遂行に必要な能力・資質等の向上を図ることを目的とする。

- ・教職員研修会
- ・教育職員研修
- ・新入職員研修
- ・階層別研修
- ・外部研修等(学会等を含む)

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 全国動物専門学校協会 教員研修会	連携企業等: 全国動物専門学校協会
期間: 令和5年 8月 2日	対象: ペット分野、動物分野の専門学校教員
内容: 栄養学セミナー「食事と栄養、療法食」について	
研修名: 日本動物看護学会	連携企業等: 日本動物看護学会
期間: 令和5年 7月 31日	対象: 獣医医療関係者
内容: 獣医療分野各種の学術研究発表・検討論議等	
研修名: 北海道小動物獣医師会年次大会2023	連携企業等: 北海道小動物獣医師会
期間: 令和5年 11月 4日～ 11月 5日	対象: 獣医医療関係者および学生
内容: 獣医療分野各種の学術研究発表・検討論議等	
研修名: 【北海道・東北支部】～動物看護師情報交換会～	連携企業等: 日本動物看護職協会
期間: 令和5年 10月 15日	対象: 日本動物看護職協会所属の動物看護師
内容: 愛玩動物看護師への次へ～なりたい自分になる	
研修名: 日本臨床獣医学フォーラム第23回 年次大会2023	連携企業等: 日本臨床獣医学フォーラム
期間: 令和5年 9月 23日～ 9月 24日	対象: 獣医医療関係者および学生
内容: 獣医療分野各種の学術研究発表・検討論議等	

<b>②指導力の修得・向上のための研修等</b>		
研修名:	文部科学省認定「職業実践専門課程」に係る研修会	連携企業等: 北海道私立専修学校各種学校教育能力認定委員会
期間:	令和5年 8月 1日	対象: 北海道私立専修学校各種学校連合会会員校の教職員
内容	教員の授業及び学生に対する指導能力等に修得・向上を図る。	
研修名:	学校法人吉田学園 専門学校教育研修会	連携企業等: なし
期間:	令和5年 8月 10日	対象: 正職員、嘱託職員
内容	吉田学園専門学校グループにおいて、学生に係る「教育課題」の解決に向けた実践的な研修を実施し、職員の資質向上を図る。	
<b>(3)研修等の計画</b>		
<b>①専攻分野における実務に関する研修等</b>		
研修名:	全国動物専門学校協会 教員研修会	連携企業等: 全国動物専門学校協会
期間:	令和6年 8月 30日	対象: ペット分野、動物分野の専門学校教員
内容	獣医療分野各種の学術研究発表・検討論議等	
研修名:	日本動物看護学会	連携企業等: 日本動物看護学会
期間:	令和6年 9月 2日～ 9月 3日	対象: 獣医医療関係者
内容	獣医療分野各種の学術研究発表・検討論議等	
研修名:	北海道小動物獣医師会年次大会	連携企業等: 北海道小動物獣医師会
期間:	令和6年 11月 4日～ 11月 5日	対象: 獣医医療関係者および学生
内容	獣医療分野各種の学術研究発表・検討論議等	
研修名:	【北海道・東北支部】～動物看護師情報交換会～	連携企業等: 日本動物看護職協会
期間:	令和6年 10月 15日	対象: 日本動物看護職協会所属の動物看護師
内容	動物看護師の仕事について、日頃の業務の工夫している点や意識している点などを意見交換しスキルアップを図る。	
研修名:	日本臨床獣医学フォーラム第25回 年次大会2023	連携企業等: 日本臨床獣医学フォーラム
期間:	令和5年 9月 23日～ 9月 24日	対象: 獣医医療関係者および学生
内容	獣医療分野各種の学術研究発表・検討論議等	
<b>②指導力の修得・向上のための研修等</b>		
研修名:	文部科学省認定「職業実践専門課程」に係る研修会	連携企業等: 北海道私立専修学校各種学校教育能力認定委員会
期間:	令和6年 8月 2日	対象: 北海道私立専修学校各種学校連合会会員校の教職員
内容	教員の授業及び学生に対する指導能力等の修得・向上を図る。	
研修名:	学校法人吉田学園 専門学校教育研修会	連携企業等: なし
期間:	令和6年 8月 9日	対象: 正職員・嘱託職員
内容	吉田学園専門学校グループにおいて、学生に係る「教育課題」の解決に向けた実践的な研修を実施し、職員の資質向上を図る。	
研修名:	学校法人吉田学園 職員研修会	連携企業等: 未定
期間:	令和7年 3月(予定)	対象: 正職員・嘱託職員全員
内容	新年度を迎えるにあたり理事長の講話を拝聴し、全職員の意識を統一し士気の高揚を図る。	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価委員会は、学校が行った次の事項に対する自己点検・評価の結果に基づき評価を行い、学校は、当該委員会においての意見・評価を、自己点検・評価の結果と共に真摯に受け止め、必要な改善に努めるとともに、学校運営や教育実践力等の向上を図ることを基本方針とする。

(評価項目)

- ・教育理念・目標
- ・学校運営
- ・教育活動
- ・学修成果
- ・学生支援
- ・教育環境
- ・学生の受入れ募集
- ・財務
- ・法令等の遵守
- ・社会貢献・地域貢献
- ・国際交流

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	①学校の理念・目的・育成する人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) ②学校における職業教育の特色は何か ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ④学校の理念・目的・育成する人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ⑤学校の教育目標、育成する人材像は、学校に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
(2) 学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ④人事、給与に関する規程等は整備されているか ⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>②教育理念、育成する人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</li> <li>⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか</li> <li>⑥関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか</li> <li>⑦授業評価の実施・評価体制はあるか</li> <li>⑧職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>⑩資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</li> <li>⑪人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>⑫関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか</li> <li>⑬関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか</li> <li>⑭職員の能力開発のための研修等が行われているか</li> </ul>
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>①就職率の向上が図られているか</li> <li>②資格取得率の向上が図られているか</li> <li>③退学率の低減が図られているか</li> <li>④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</li> <li>⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか</li> </ul>
(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>①進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>②学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>④学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>⑥学生の生活環境への支援は行われているか</li> <li>⑦保護者と適切に連携しているか</li> <li>⑧卒業生への支援体制はあるか</li> <li>⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>①施設・設備・図書は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</li> <li>③防災に対する体制は整備されているか</li> </ul>
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</li> <li>③納付金は妥当なものとなっているか</li> </ul>
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>③財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>④財務情報公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>③自己点検・評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>④自己点検・評価結果を公開しているか</li> </ul>

(10) 社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	①留学生の受入れについて戦略を持って行っているか ②留学生の受入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ③留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか ④学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

より高い専門職種を輩出する学校としての特性を活かしつつ、本校の実践的な職業教育にかかる活動等を評価し、改善・支援等を行うことにより、学生が関連業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受できるように学校運営の改善と、発展を目指す。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和6年5月1日

名前	所属	任期	種別
鳥越 慎吾	札幌小動物獣医師会 会長 あいの里動物病院 院長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
今道 昭一	きたのさと動物病院 院長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
立石 淳子	公益社団法人 北海道愛玩動物協会 代表	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等委員
棚橋 祥恵	株式会社Rococo 代表取締役社長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( )

URL: <https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/doubutsu/>

公表時期: 令和6年10月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学科目的に掲げた職業人の育成には、学校関係者との信頼関係を築き、連携・協力体制の構築が必要不可欠であり、その為に適切なツールにより、積極的な情報提供を行うことを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の沿革・歴史</li> <li>・設立と教育目標、理念、教育方針</li> <li>・校長名、所在地、連絡先等</li> </ul>
(2) 各学科等の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員数、在学生数</li> <li>・カリキュラム(授業概要、授業時数等)</li> <li>・進級・卒業要件等(成績評価基準、進級・卒業の認定基準等)</li> <li>・学習の成果として取得を目指す資格等</li> <li>・卒業生数、卒業後の進路(主な就職先、就職者数、就職率等)</li> </ul>



授業科目等の概要

(専門課程 トリマー学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			グルーミング演習Ⅰ	犬種それぞれの特徴やグルーミングポイント、また飼主様へのアドバイスを行える知識を身につける。	1年・前期	30	1	○			○		○		
2	○			グルーミング演習Ⅱ	犬種それぞれの特徴やグルーミングポイント、また飼主様へのアドバイスを行える知識を身につける。	1年・後期	30	1	○			○		○		
3	○			グルーミング演習Ⅲ	犬種それぞれの特徴やグルーミングポイント、また飼主様へのアドバイスを行える知識を身につける。	2年・前期	30	1	○			○		○		
4	○			グルーミング演習Ⅳ	犬種それぞれの特徴やグルーミングポイント、また飼主様へのアドバイスを行える知識を身につける。	2年・後期	30	1	○			○		○		
5	○			コンパニオンアニマル（ネコ）	猫の歴史、生態、習性や人との関係を理解する。	1年・前期	30	2	○			○			○	
6	○			コンパニオンアニマル（イヌ）	犬の起源、歴史などの学習を通じて、動物愛護の心を養う。	1年・前期	30	2	○			○			○	
7	○			動物看護学Ⅰ	動物診療助手資格の取得を目指す。	1年・前期	30	2	○			○		○		
8	○			動物看護学Ⅱ	動物診療助手資格の取得を目指す。	1年・後期	30	2	○			○		○		
9	○			動物看護学Ⅲ	動物診療助手資格の取得を目指す。	2年・前期	30	2	○			○		○		
10	○			動物看護学Ⅳ	動物診療助手資格の取得を目指す。	2年・後期	30	2	○			○		○		

(専門課程 トリマー学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
11	○			動物災害看護学	災害急性期に動物救護のための獣医療を支援するための知識、技術を修得する。	2年・前期	30	2	○			○		○		
12	○			愛玩対策Ⅰ	愛玩動物飼養管理士2級合格レベルの知識を身につける。	1年・通年	45	3	○			○		○		
13	○			愛玩対策Ⅱ	愛玩動物飼養管理士1級合格レベルの知識を身につける。	2年・通年	45	3	○			○		○		
14	○			ペット栄養学Ⅰ	動物飼養者への栄養指導に活かすことができる知識を習得する。	2年・前期	30	2	○			○		○		
15	○			ペット栄養学Ⅱ	動物飼養者への栄養指導に活かすことができる知識を習得する。	2年・後期	15	1	○			○		○		
16	○			ペットショップ経営	独立するにあたってのビジョン、他店との差別化など想像力を養う。	1年・後期	15	1	○			○			○	
17	○			グルーミング実習Ⅰ	講義で学んだ事、グルーミング実践の基礎を理解した上でカットの基礎を学ぶ。	1年・前期	240	8			○	○		○	○	
18	○			グルーミング実習Ⅱ	講義で学んだ事、グルーミング実践の基礎を理解した上でカットの基礎を学ぶ。	1年・後期	240	8			○	○		○	○	
19	○			グルーミング実習Ⅲ	1年時に習得した技術を基に、より高度な技術を身につける。	2年・前期	240	8			○	○		○	○	
20	○			グルーミング実習Ⅳ	1年時に習得した技術を基に、より高度な技術を身につける。	2年・後期	240	8			○	○		○	○	

(専門課程 トリマー学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
21	○			しつけ・トレーニング演習Ⅰ	犬の習性と特性を学んでストレスがかからないよう扱えるようになり、飼主に基本的なアドバイスができるようになる。	1年・後期	30	1	○			○				○
22	○			しつけ・トレーニング演習Ⅱ	基本的なしつけを学び訓練の重要性を体感し、飼主に基本的なアドバイスができるようになる。	2年・前期	30	1	○			○				○
23	○			施設見学・特別講義Ⅰ	①動物園の役割・使命を理解する ②動物関連施設について学ぶ ③専門的かつ高い技術を学ぶ ④管理センター・保護活動について理解する	1年・通年	30	1	○		○	○			○	
24	○			施設見学・特別講義Ⅱ	①ドッグショーについて学ぶ ②盲導犬協会の概要と役割を理解する ③専門的な高い技術の習得	2年・後期	30	1	○		○	○			○	
25	○			店舗実習Ⅰ	講義・学内実習で学んだ知識と技術を基に、実務経験を通して総合的な動物美容、販売を実践するための基礎能力を習得する。	1年・後期	60	2			○		○			○
26	○			店舗実習Ⅱ	講義・学内実習で学んだ知識と技術を基に、実務経験を通して総合的な動物美容、販売などが実践できる。	2年・前期	120	4			○		○			○
27	○			アートクリエイティブⅠ	イメージする力を養い、表現力を向上させる。	1年・前期	15	1			○		○			○
28	○			アートクリエイティブⅡ	効果的なデザインに関する基礎的な知識・技術を習得する。	2年・前期	15	1			○		○			○
29	○			就職セミナー	進路決定のための業界研究。円滑な就職活動への取り組み。	2年・前期	15	1			○		○		○	
30	○			コンピュータ演習Ⅰ	関数・グラフ作成・データベース処理などExcelの基本的な機能について学ぶ。	1年・前期	30	1			○		○			○

(専門課程 トリマー学科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
31	○			コンピュータ演習Ⅱ	検定試験合格に向けて、模擬問題演習を中心に行う。	1年・後期	30	1		○					○
32	○			コンピュータ演習Ⅲ	コンピュータを利用した、事務作業に必要な文書の作成やマナーについて学習する。就職活動に実践で活用できる内容の学習と習得。	2年・前期	30	1		○					○
33	○			ビジネスマナーⅠ	社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び、社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力の習得を目的とする。	1年・前期	30	2	○						○
34	○			ビジネスマナーⅡ	社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び、社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力の習得を目的とする。	1年・後期	30	2	○						○
合計					34 科目			1935 単位 (単位時間)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： 教育課程の定めるところにより、修業年限以上在学し、教育指導計画に従って授業科目を履修し、その成果が満足できると認められたときは、所定の会議の議を経て卒業を認定する。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 教育課程の定めるところにより、教育指導計画に従って授業科目を履修する。	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。